

「まちの絆、日本の絆―被災地へ」



2011年8月6日、「SAKAEリバーサイドフェスティバル」において、
住民活動団体・住民・町が協力してキャンドルメッセージ「心ひとつに」をつくった



千葉県旭市や福島県いわき市、相馬市などの被災の様子

栄町から県内・東北の被災地へ

栄町社会福祉協議会と栄町ボランティア・NPO連絡協議会の活動

栄町社会福祉協議会では、県内外の被災地へ職員派遣を行ってきました。旭市災害ボランティアセンターへ（2日間延べ2名）、相馬市災害ボランティアセンターへ（12日間延べ24名）などです。また、栄町ボランティア・NPO連絡協議会と連携し、被災地ではボランティアが足りないため、5月から7月までの間、栄町在住の一般の方々から公募したボランティアを福島県いわき市災害ボランティアセンターへ8回にわたり延べ45名を派遣しました。そのほか、原発事故で福島県から避難を余儀なくされた方々へのホームステイ事業や演劇サークル「鈴の会」とカトレアフラサークルによる「栄町ボランティアの集い」の開催、街頭募金なども行ってきました。



5月19日 いわき市へ県外から集まるボランティア



6月9日 いわき市災害ボランティアセンターで説明を聞く



6月9日 いわき市災害ボランティアセンターの様子



7月4日 相馬市災害ボランティアセンターへ職員派遣



7月14日 いわき市永崎で側溝清掃をするボランティア



町内へ災害ボランティアを募集するチラシ



7月3日
「栄町ボランティアの集い」を開催

被災地へ届け! 私たちの思い

絆を広げていった住民活動

100万人のキャンドルナイト inさかえ

[2011年6月4日]

町役場横緑道で毎年6月に実施してきた「100万人のキャンドルナイト」。2011年は、東日本大震災復興支援イベントとして開催。多くの住民の参加により、キャンドルで「絆」の文字をつくりました。



SAKAEリバーサイドフェスティバル

[2011年8月6日]

利根川河川敷で8月6日に開催。キャンドルメッセージ「心ひとつに」のほか、「届け!心の鐘」、有志による花火など、東日本大震災被災地への思いを込めたイベントとなりました。



のら市

緑道であそぼうかいプロジェクトによる「のら市」では、東日本大震災被災地への募金活動も行ってきました。



今こそ、ひとが元気に、まちが元 気に

支援と防災の思いを込めたイベント

住民活動ふれあいまつり

[2011年10月16日]

町内55の住民団体が集い、行政や企業とともに活力あるまちづくりを目指して行っています。「住民活動ふれあいまつり」2011年は、「元気です！笑顔です！この町で生きて行こう！」をテーマに開催しました。



いっさいがっさいフェスティバル

[2011年12月11日]

町恒例の大イベント「いっさいがっさいフェスティバル」。2011年は、東日本大震災から9カ月を経た12月11日に安食小学校を会場に開催されました。旭市の復興支援物産販売コーナーや消防防災PRコーナー、わが家の耐震相談会をはじめ、多彩なイベントが繰り広げられました。栄町における道路や公園、河川の震災被害パネルコーナーには多くの来場者が訪れ、今回の被害を改めて振り返っていました。



さかえまち利根リバーサイドマラソン・ウォーキング

[2012年2月12日]

早春の利根川を走る恒例のリバーサイドマラソン・ウォーキング。2012年は、東日本大震災の影響によって千葉県内に避難されている人は参加無料にて開催されました。合計参加者は1,076名。各コースに出場し、健脚を競いました。

安食の酉まち

[2011年12月8～11日]

大鷲神社下広場を会場に開催。復興の願いを込めて熊手を買う人々の姿が見られました。



あの日から1年

「全町挙げて防災訓練—安心・安全へ」

東日本大震災からちょうど1年目となる2012年3月11日、栄町防災訓練を実施しました。これは、今後起こる可能性のある東海地震や首都圏直下型地震を想定したもので、町職員はもとより、自治組織や自主防災組織などの住民のほか、消防団、建設災害対策協力会、町赤十字奉仕団などが参加し、避難誘導訓練や消防救助訓練、応急活動訓練、避難所開設・運営訓練などを行いました。



「災害対策本部」が開設された栄町消防本部・消防署は緊迫した空気に包まれた

防災訓練レポート

大地震発生。 栄町災害対策本部を速やかに開設！



2012年3月11日午前8時30分、栄町消防本部・消防署に「災害対策本部」を開設。集合した職員たちは、計画に基づき情報収集や災害現場への出動など緊迫した防災訓練活動を行いました。8時40分には町内にある全5分団の消防団も集結。消防団長の指揮のもと、各災害現場へ出動していきました。



防災訓練レポート

災害ボランティアセンターも開設。 住民が集まる！



災害時の被災者支援ボランティア活動は、阪神・淡路大震災以降不可欠なものとして広く認識され、このたびの東日本大震災でも、多くのボランティアが活動しています。防災訓練を実施したこの日、栄町社会福祉協議会では「栄町災害ボランティアセンター」を栄町消防本部・消防署1階に設置し、ボランティアとして駆け付けた住民の登録受付や派遣調整、被災者からのニーズの整理や情報の提供、ボランティアとのマッチングなど、実践に備えて訓練を行いました。

防災訓練レポート

避難所となった小学校体育館で住民の 連携が生まれる！



この日、町内の小学校体育館では、避難者の受け入れや給水車による給水体験、簡易トイレの組み立てなど、多くの住民が参加して避難訓練を行いました。また、町赤十字奉仕団によりけがの際の応急活動訓練も実施しました。